

令和5年度 全国学力・学習状況調査 本校の結果について

本年4月に3年生を対象に実施いたしましたこの調査について、本校の結果をお知らせします。この調査結果を受け、分析と考察を行い、学習指導や授業改善に取り組んでおります。ご家庭でもお子様の指導等の参考にしていただければと思います。

1. 学力検査正答率の結果から（全国平均との比較）※英語は3年ごとの調査となっています。

- 国語：全国平均と比較して、同様である。
- 数学：全国平均と比較して、やや下回っている。
- 英語：全国平均と比較して、下回っている。

2. 各教科の成果と課題のあった問題（代表的なものを1問ずつ）

(1) 成果（正答率が全国平均と同等もしくは上回ったもの）

- ① 国語：観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができるかどうかをみる問題。大問2-二
- ② 数学：四分位範囲の意味を理解しているかどうかを見る問題。大問7(1) ※以下参照
- ③ 英語：文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる問題。大問7(1)

(2) 課題（正答率が全国平均と比較し、下回っているもの）

- ① 国語：聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題。大問1-四
- ② 数学：複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題。大問7(2) ※以下参照
- ③ 英語：未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる問題。大問9(1) ①

7 イチョウの木の本の大部分の葉が黄色に変わった最初の日を黄葉日といいますが、一花さんと啓太さんは、黄葉日が以前と比べるとだんだん遅くなってきている傾向にあることをニュースで知り、二人が住む地域も同じ傾向にあるのが気になりました。そこで、二人が住む地域の黄葉日を調べたところ、1961年から2020年までの60年分の記録がありました。

二人は、黄葉日の傾向を調べるために、各年の黄葉日を9月30日からの経過日数で表すことにしました。このとき、経過日数は10月1日が1日となり、10月31日は31日、11月1日は32日となります。そして、二人は次のような表にまとめました。

年	黄葉日	経過日数(日)
1961	10月23日	23
1962	11月10日	41
1963	11月10日	41
1964	11月13日	44
1965	11月12日	43
⋮	⋮	⋮
2019	12月10日	71
2020	12月4日	65

二人は、上の表を見て、経過日数が年によって大きくなったり小さくなったりしていることに気づきました。そこで、60年分の経過日数を何年かごとのまとまりで分けて箱ひげ図で表し、それぞれの分布の傾向を比較することにしました。

次のページの黄葉日までの経過日数の分布は、15年ごとのまとまりとして1961年～1975年、1976年～1990年、1991年～2005年、2006年～2020年の4つに分けてまとめました。

	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
1961年～1975年	23	34	41	44	51
1976年～1990年	36	46	48	51	61
1991年～2005年	45	49	53	62	72
2006年～2020年	46	63	64	68	71

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 1961年～1975年の四分位範囲を求めなさい。

(2) 二人は、前ページの箱ひげ図を見て、話し合っています。

一花さん「4つの箱ひげ図を見ると、黄葉日はだんだん遅くなってきている傾向がありそうだね。」

啓太さん「でも、1991年～2005年と2006年～2020年の箱ひげ図は、右端と左端が同じくらいの位置にあるよ。遅くなっているといえるのかな。」

一花さん「確かに箱ひげ図の右端と左端についてはそうだけど、箱に着目すれば、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなってきている傾向にあるといえるのではないかな。」

前ページの箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなってきている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2020年の2つの箱ひげ図の箱に着目して説明しなさい。

全国平均より上回った問題

全国より下回った問題

(3) 全体を通じて

- ① 成果：基礎的・基本的な知識・技能は有していると言える。
- ② 課題：正確に書くこと、特に条件に合わせて根拠を示しながら表現することに課題がある。

3. 学校としての改善策

- ・ 学習の見通しとふり返りのある学習過程の中で、生徒の学習意欲と学力の向上を図ります。
- ・ まとめや発表の場面では「なぜそう考えたのか」など根拠を示して発表できるようにします。
- ・ 一人一台端末など、ICT等の活用により、学びあいを活性化させ、学習事項の定着向上を目指して授業改善を行います。
- ・ 望ましい生活・学習習慣の確立を目的に「フォーサイト手帳」を活用して指導します。
- ・ 放課後を活用した補充学習や宿題、自学課題提示、1人1台端末等を活用した課題などを通じて、個別に最適化された家庭学習の実現を図ります。
- ・ 進路指導とキャリア教育を推進し、生徒が自らの将来について考え、将来の夢や目標を持てるようにします。
- ・ 夢や目標の実現のために、自分の生活上の課題を改善し、主体的に学びに向かおうとする気持ちを高める取組を進めていきます。

4. 生徒質問紙による学習状況に関する調査

(1) 全国の回答と比較し、良い傾向の項目（全国比+10%以上の項目）

- ・ 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。
- ・ 人が困っているときは、進んで助けていますか。
- ・ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- ・ 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人に相談できますか。
- ・ 友人関係に満足していますか。
- ・ 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか。
- ・ 読書は好きですか。
- ・ 今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- ・ 1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度活用しましたか。
- ・ 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。
- ・ 国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか。
- ・ 1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか。

(2) 全国の回答と比較し、改善が必要と思われる項目

- ・ 学校に行くのは楽しいと思いますか。
- ・ 学校の授業時間以外に、普段（平日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。→2時間以上と答えた生徒、全国比 -15.8%
- ・ 土曜日や日曜日の学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。→2時間以上と答えた生徒、全国比-11.5%
- ・ 1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する場面では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。

5. ご家庭へのご協力をお願い

① えべつスマート4ルールを参考に、家庭で特に「メディア利用時間」のルールを確立・見直し

生徒質問紙の結果から、3年生の生徒の半数が学習塾や家庭教師の先生に教えてもらっている時間がある割に、それらの時間も含めた平日・土日の学習時間が2時間以上にならない生徒が多いことから「自分で目標を定め、その目標達成のために必要な努力を考え実行する力」が足りていないと読み取れます。また、これまでの調査の結果から、長時間ゲームや動画、SNSに時間がとられがちであることもわかっています。これが、学習時間が増えない原因であることももちろんですが、心身の健康の面からも憂慮されます。保護者アンケートとは逆に、生徒の多くは携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について「家庭でのルールを守っている」と考えています。

② 子どもたちが自分自身の意見を語る経験・最後までやりきる経験の積み重ねを

友人関係に満足している、学校にいる大人は相談しやすいなど、学校に肯定的な回答が多い一方、学校に行くのが楽しいと答えた生徒の割合が少ないことが気になります。学校で「友人や仲間と協力して何かを成し遂げる経験」がコロナ禍で制限されたことも一因と言えます。また、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して話す割合が少ないことから、うまく話せない・表現できないときはあきらめてしまう傾向にある生徒が多いようです。ご家庭でも、お子さんが話すときには根気よく最後まで話を聞くなど、最後までやりきらせる経験を積めるよう促してください。